

中国株ウィークリーレポート

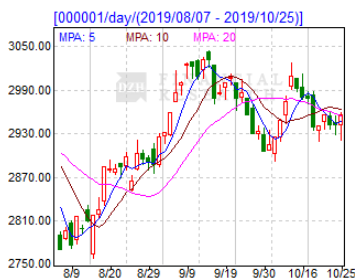
2019/10/28

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	26,958.06	152.53	0.57	0.70	15.56	23,327.46
NASDAQ	8,243.12	57.32	0.70	1.90	24.23	6,635.28
日経225	22,799.81	49.21	0.22	1.37	13.91	20,014.77
上海総合	2,954.93	14.01	0.48	0.57	18.49	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,896.79	26.12	0.67	0.71	29.43	3,010.65
ハンセン	26,667.39	-130.56	-0.49	-0.20	3.18	25,845.70
中国企業	10,466.30	-66.55	-0.63	-0.70	3.37	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は0.2%安と3週ぶりに反落、上海総合指数は0.6%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.2%安と3週ぶりに反落した。積極的な買い材料に乏しいなか、米中対立を巡る関連報道に左右された。中国政府が近く香港の行政長官を更迭するとの報道で香港情勢の悪化も警戒された。一方、中国共産党による4中全会開催の日程が明らかになり、景気刺激策の発表期待が広がった。本土市場では上海総合指数が週間で0.6%高と反発。中国人民銀行が最優遇貸出金利の据え置きを発表したものの、4中全会を前に景気刺激策の発表に対する期待が高まり、相場の押し上げ要因となった。

今週の展望: 香港市場は堅調な展開か、米中協議の進展で対立緩和期待

香港市場は堅調な展開が予想される。25日の米中閣僚級電話協議での実質的な進展を受けて米中対立が和らぐとの期待が高まりそうだ。31日に発表される中国の製造業PMIでは景気の減速懸念が強まる可能性はあるが、FOMCでの利下げ期待や中国の4中全会での景気刺激策の発表に対する期待が懸念を相殺する展開が見込まれる。本土市場も今週は堅調な展開か。米中協議の進展を好感した買いが見込まれるほか、景気刺激策への期待が相場を支えそうだ。ピークを迎える7-9月期決算の発表にも注目が集まる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

順位	銘柄名	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	サス・ファイ(01928)	38.65	5.46
2	瑞声科技(02018)	48.20	5.36
3	石業集団(01093)	18.28	5.06
4	中国人寿保険(02628)	19.54	4.16
5	銀河娛樂(00027)	52.30	3.36
6	吉利汽車(00175)	14.18	3.35
7	信和置業(00083)	12.40	3.16
8	中国工商銀行(01398)	5.56	2.58
9	ハンセン銀行(00011)	167.20	2.39
10	Link REIT(00823)	85.00	1.98

▼騰落率下位

順位	銘柄名	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	華潤置地(01109)	33.50	-7.46
2	テセント(00700)	316.60	-4.35
3	ファイ・コム(00762)	7.98	-4.09
4	中国平安保険(02318)	90.90	-3.91
5	中国海外発展(00688)	25.20	-3.82
6	ファイ・モバイル(00941)	64.45	-2.57
7	恒隆地産(00101)	16.86	-2.43
8	創科実業(00669)	56.85	-2.32
9	長江インフラ(01038)	54.55	-2.24
10	舜宇光学科技(02382)	116.50	-1.94

▼今週の主なイベント

- 10月28日(月)
- 【中国】4中全会(～31日)
- 10月29日(火)
- 【米国】FOMC(～30日)
- 10月31日(木)
- 【中国】製造業PMI(10月)

▼今週の期待材料

- ◆25日に米中閣僚級電話協議開催、米中双方が第1段階の合意文書の作成に向けて「進展があった」と発表
- ◆29-30日に米FOMC開催、市場予想通り0.25%の利下げが発表されれば相場の支援材料に
- ◆中国共産党が第19期中央委員会第4回全体会議を28日から開催、景気刺激策発表への期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆ペンス米副大統領が24日に対中批判演説、中国は「強烈な憤慨と断固とした反対」を表明
- ◆31日に中国の10月の製造業PMI発表、景況感悪化なら景気の先行きに対する警戒感が広がる公算
- ◆逃亡犯条例改正案の正式撤回後も香港でデモ継続、観光業や小売業など経済への影響深刻に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国中車(01766): 30日に7-9月期決算を発表、市場予想は10%増益
- ☆ 中国郵政儲蓄銀行(01658): 中国証券当局がA株市場への重複上場計画を認可
- ☆ 中国工商銀行(01398): 7-9月期決算は6%増益と堅調、1-9月は5%増益
- ☆ 新疆金風科技(02208): 風力発電子会社2社の株式49%を6.7億円で売却
- ☆ 中国平安保険(02318): 7-9月期決算は50%の大幅増益、1-9月は63%増益
- ☆ キングソフト(03888): オフィスソフト子会社の分離上場計画、中国証券当局が認可
- ★ カフェ・ド・コラル(00341): 19年9月中間決算は純利益が3分の1に縮小の見通し
- ★ シノパック(00386): 29日に7-9月期決算を発表、市場予想は21%減益
- ★ 広深鉄路(00525): 29日に7-9月期決算を発表、市場予想は28%減益
- ★ 中国人寿保険(02628): 29日に7-9月期決算を発表、市場予想は1%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。